

波多野鼎 (徳島) 經濟學者、經濟學博士。明治二十九年二月二十日愛知縣生れ、昭和五十一年九月二十九日歿（八六―一九六）。筆名はたの、K・H生。大正九年東京帝國大學法學部法律學科卒。滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）調査部に入り、同志社大學教授を経て、昭和九年九州帝大教授、のち中央大學等で教授。二十二年參議院議員となり、農相就任。三十四年民主社會主義研究會議議長。價值學說史研究が有名。

著書に『革命ロシヤ研究十講』（合著・前衛社）田所照明編、大正十一年十月、二十八日酒井書店）、『最近の獨逸研究』（合著・表現社編、大正十一年一月十八日、二松堂書店）、『我國の戰時經濟』（昭和十一年十月十一日日本評論社）、『ノーリエの理想社會論』（昭和二十一年一月五日福岡・傳信堂）『社會思想叢書』（）、『入道主義者ロシヤとオウエン』（昭和二十一年七月、二十五日福岡・傳信堂）『社會思想叢書』（）等。